

## 事前評価調書

I 事業概要																																
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）																															
地区名	主要地方道 <small>おかざきあすけ</small> 岡崎足助線																															
事業箇所	豊田市 <small>くぎゅうだいら</small> 九久平町地内																															
事業のあらまし	<p>主要地方道<small>おかざきあすけ</small>岡崎足助線は岡崎市の国道1号から豊田市足助地区の国道153号に至る延長23.6kmの路線である。当該箇所は、松平支所前<small>まつだいら</small>バス停から港橋東交差点<small>みなとばし</small>までの一級河川巴川左岸に位置し、歩道が設置されていない状況である。また、九久平<small>くぎゅうだいら</small>小学校への通学路に指定されており、地域住民が集まる豊田市松平交流館<small>とよたまつだいら</small>への重要な利用経路にもなっている。本事業は、河川側に歩道を整備し、歩行者の安全性と利便性を確保するものである。</p>																															
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b></p> <p>① 危険通学路の解消 ② 歩行者等の安全確保</p> <p><b>【副次目標】</b>（必要に応じて記載する）</p>																															
事業費	事業費	内訳																														
	4.8億円	■工事費 4.5億円、□用補費 0億円、■その他 0.3億円																														
事業期間	採択予定年度	2026年度	着工予定年度	2026年度	完成予定年度	2028年度																										
事業内容	歩道設置 L=350m																															
II 評価																																
①事業の必要性	1) 必要性	歩道が設置されていないため、歩行者の通行安全性が確保されていない。																														
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p><b>【理由】</b> 交通量（約6900台/日 大型車混入率約5.7%）が多いにもかかわらず、歩道が整備されていないことから、歩行者等の安全を確保するため歩道を整備する必要がある。</p>																													
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">4.8億円</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>						R7	R8	R9	R10	合計	工種区分	調査・設計	←	→			0.3	工事		←	→		4.8	事業費（億円）		4.8億円				4.8
			R7	R8	R9	R10	合計																									
工種区分	調査・設計	←	→			0.3																										
	工事		←	→		4.8																										
事業費（億円）		4.8億円				4.8																										
2) 地元の合意形成	地域から歩行者の安全確保に資する要望が強いことから、地域との合意形成は容易と考える。																															

判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	円滑な事業執行環境が整っており、事業の実行性は高いと考えられる。
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/> 対象外 <b>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</b>  <b>【主な評価内容】</b> ・交通事故の発生状況の変化		